

令和元年度第1回豊能町地域公共交通会議議事概要

日 時：令和2年1月23日（木）午後1時から午後2時まで

場 所：豊能町役場 2階 大会議室

出席者：委員12名、事務局4名

（詳細は別紙「令和元年度第1回豊能町地域公共交通会議出席者表」のとおり）

傍聴者：5名

1. 開会

午後1時に会長が開会し、過半数の委員出席による開催を確認した。

2. 委員及び出席者紹介

事務局より委員及び出席者の紹介があった。

3. 《報告》豊能町地域公共交通基本構想の進捗状況について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①短期計画について

→北大阪ネオポリス線の箕面トンネル経由便・ときわ台駅のバリアフリー工事を完了。

②中期計画について

→ときわ台駅前駐輪場の無料化・無人化を完了。ロータリーの整備工事を令和2年度に完了予定。

③長期計画について

→阪急バス箕面森町線の能勢電鉄駅までの延伸について関係機関と協議している。

(2) 主な質疑、意見

[委員] 阪急バス箕面森町線は能勢電鉄駅まで早期に延伸して欲しい。

(事務局) 阪急バス箕面森町線は早期に延伸したいが、北大阪急行の延伸時期が延期され、阪急バスの路線再編もその時期となる。その時期を目標に進めていきたい。

[会長] 運転士の確保が厳しく、北大阪急行延伸時の路線再編をするタイミングでなければ難しいか。

[委員] 運転士確保が非常に厳しい状況で、町と相談し進めていきたい。

[委員] 延伸は時間的には10分程度で、運転士確保の問題だけではないのではないのか。

[委員] 豊能西線が赤字基調で、箕面森町線延伸は採算性にも課題がある。

4. 《その他》 阪急バス豊能西線について

(1) 以下の事項について事務局より説明があった。

①収支推移について

→人件費の増加等により支出が大きく、路線の維持には欠損額の圧縮が必要。

②運賃について

→町の財政上、補助額の増加はこれ以上難しい。令和2年度に運賃見直しを進めたい。

(2) 以下の事項について阪急バス選出委員より説明があった。

①バス事業を取り巻く環境について

→全国のバス事業者の多くが赤字で、バス輸送人員が少子・高齢化等で減少している。

バスの運転に必要な大型2種免許保有者が減少している。

②阪急バスの状況について

→運転士の正社員化・阪急田園バスの合併や免許未取得者の採用などで運転士確保を進めている。高齢化が進み退職者が増え、大型2種免許の保有者が減少している中、補充できるか不透明。待遇向上に伴う経費増額に見合った収入確保が課題。

(3) 主な質疑、意見

[会長] 運賃は協議運賃となっており、阪急バス路線の運賃より安くなっている。

[委員] 阪急バスのバスを借りて、町職員で走ることとは不可能か。

[会長] 市バスでも運行を民間に移行するケースがある。一般的に行政でするのは非効率。

[委員] 国交省で自家用車クラスの車で住民の移動をサポートするなど話が出ているようなので、地域の足をどう守っていくか町に提案・相談したい。

[委員] 国交省の検討会で施設の送迎バスなど総動員して地域の公共交通を確保する方向性で議論が進んでいる。

5. 《その他》 タクシー運賃改定について

(1) 以下の事項について大阪タクシー協会選出委員より説明があった。

①運賃改定の目的について

→乗務員の労働待遇の改善、人材確保、安全対策の強化等を図る。

②運賃改定の内容について

→24年ぶりの運賃改定となり、現行運賃から7.9%の改定率。

6 閉会

(1) 総務部長より閉会挨拶があった。

(2) 午後2時に閉会した。